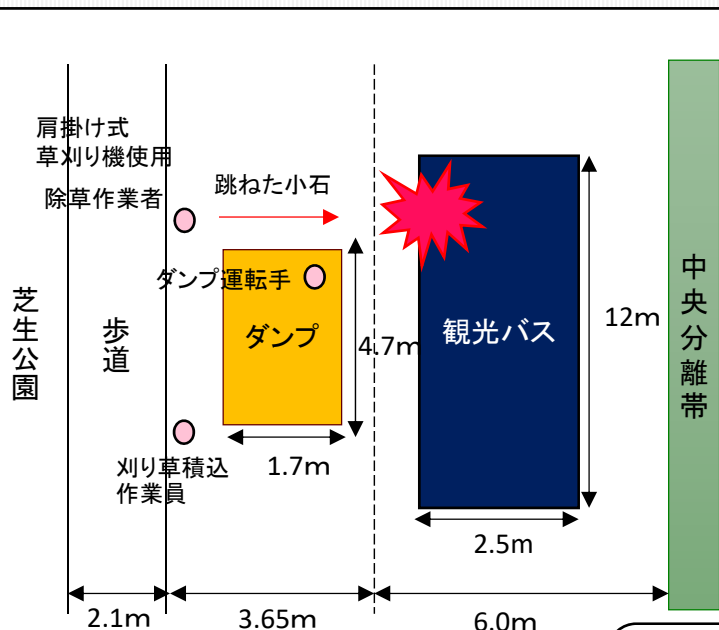


工事事務防止行動計画 ニュースレター

工事事務「0」を目指して

【令和元年8月23日事故発生】

除草作業中、飛石により
観光バスの窓を破損

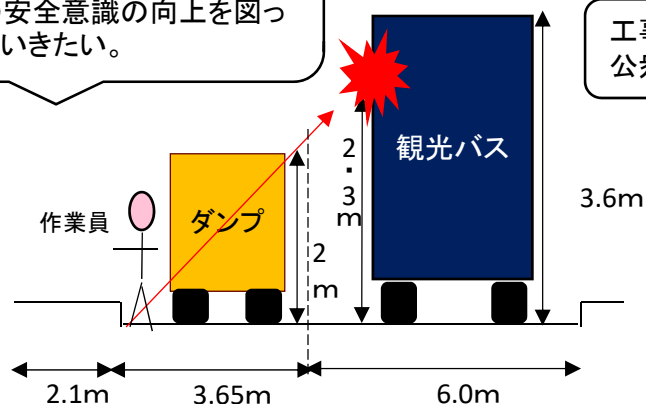


被害

- ・観光バス側面の窓ガラス破損
- ・バス乗客(36名)が代替車が来るまで1時間15分の間、被災現場で足止め

工事中断 5日間
公衆損害で減点3点

今後は
安全対策の徹底、作業員
の安全意識の向上を図っ
ていきたい。



草刈り作業員

【事故の概要】

- ・道路清掃工事における道路路肩部雑草の肩掛け式草刈り機による除草作業現場
- ・除草作業中の飛石対策として作業車両を除草作業現場横に止め、防護板代わりにしていた。
- ・朝礼時、「作業車両を除草業者横に停めて、除草作業を行う」との安全指示事項が作業員に周知されておらず、除草作業を車両横からずれた状態で行ってしまった。
- ・小石が跳ねたが防ぐものが無かったため、走行中の観光バスに当たり、バス側面の窓ガラスが破損した。

【再発防止策】

- ・肩掛け式草刈り機使用時は、防護板もしくはネット等で道路への飛散を防止する作業員を配置する。

| | | | | | | |
|-------------------------|------|-----------|---------|---------|---------|-------------------------|
| 交通基盤部 土木工事 事故発生件数 | 事故分類 | 工事関係者(傷害) | 第三者(傷害) | 第三者(物損) | 工事事務合計 | 令和元年 8月末現在 (前年同期) |
| | 件数 | 0件(1) | 0件(0) | 11件(14) | 11件(15) | |

令和元年8月31日までで「死亡事故ゼロ」1261日を達成しました!

沿道部除草業務での飛石による車両破損事故及び事故防止のための取組上の留意点

- 沿道部除草業務の飛石での車両破損事故はH29-4件、H30-3件発生
- 道路面より下の法面や交通量が少ない箇所の除草ということで防護網等設けず生じた破損事故3件を除けば、他は全て、防護網等で防護していたにも拘らず石が予想外の方向へ飛んだり、網の隙間から飛ぶ等して防護し切れなかったことが原因となっている。
- 以上を踏まえ、沿道部除草業務での飛石による車両破損事故防止のための取組上の留意点を下記のとおりまとめたので、参考にして事故防止に努めてください。

